

# SAGAMIHARA GREEN

相模原市まち・みどり公社機関紙  
さがみはらグリーン

★「さがみはらグリーン」は、まち・みどり公社本社（けやき会館内）をはじめ、市内の市立公園や公民館、図書館等に配架しております。

Vol.53 2015.12

URL <http://www.sagamiharashi-machimidori.or.jp>

写真：ソシンロウバイ（相模原麻溝公園）

2ページ▶

サクラ特集03  
サクラを育ててみよう！

3ページ▶

森と共に生きる仕事場  
それは水源林を守ることに

4ページ▶

市内の動植物を訪ねて

## 暮らしを彩るボタニカル・ライフ あると便利な柑橘“ユズ”

美肌効果はもちろん、疲労回復、感染症予防効果も!!

ガーデナー 志村みか氏

ユズにはビタミンCを始め、ミネラル類やβ-カロテン、ペクチンなどさまざまな成分が豊富に含まれています。感染症や高血圧の予防・改善に効果的と言われる、風邪を引きやすいこの季節にはもってこいの果実です。またシミ、ソバカスを抑える効果のほか、コラーゲンの合成促進など美肌にも期待できそうです！

ユズの香り成分には、血行促進や冷えの解消、お肌の保湿効果があり、自律神経のバランスを整えてくれる作用もあります。冬の時期はお風呂に入れたり、お料理や飲み物として、活用してはいかがでしょうか。



### 育て方

ユズは、柑橘類の中では耐寒性が強く栽培も容易な果実です。特に問題になる病気はありませんが、カイガラムシ類やチョウの幼虫などには注意が必要です。日当たりの良い場所で地植えの場合は、3月と10月を目安に有機肥料を与え、土壌の乾燥に注意してください。

### ユズの種類

#### ホンユズ（本柚子）

柑橘類の中で最も寒さに強く、多雨地域が良いとされる。香気が高く、酸味の強い果汁が特徴。

#### タダニシキ（多田錦）

実が小ぶりなため、ホンユズより早い年数で実る。また、樹木の成長と共にトゲが少なくなる。種がない分、果汁が多く、料理で利用されることが多い。

#### ハナユズ（花柚子）

ホンユズよりも小ぶりで、寒さに強く、短期間でたくさんの実をつける。ホンユズに比べ香りは弱いが、果汁は多い。

#### シシユズ（獅子柚子）

果実が非常に大きいことが特徴。果実は酸味が強いので、ジャムやマーマレードなどの材料としてよく利用される。別名「オニユズ（鬼柚子）」や「ジャガタラユ」とも呼ばれているが、実は、ブンタン（文旦）の仲間。ほのかに柑橘類の香りがする。

# サクラを育ててみよう！

## ～家庭で育てられる桜の推奨品種や植付け時のポイント～

サクラというと、公園や社寺、沿道などに数多く植栽されている染井吉野ソメイヨシノがイメージされます。染井吉野は成長が早く、大木になるため、サクラは個人の庭では育てられない樹木だと思われるかもしれませんが、しかし、サクラには様々な園芸品種があり、その中には植栽・管理方法を工夫することで家庭でも楽しむことができるものも存在します。サクラの植栽は、これから適期を迎えます。自宅でサクラの育成には是非チャレンジしてみてください。

### 個人の庭に向く種類を選ぶ

家庭でサクラを楽しむには、樹形がコンパクトな品種を選ぶことが肝要です。

- ①マメザクラマメザクラがかかわった‘オカメ’や‘小彼岸’コヒコガン、‘十月桜’ジュウグツザクラのような種類
- ②枝が横に広がらない‘天の川’アマガワや‘泰山府君’タイザンフクン
- ③中木・低木性で花に特徴がある‘松月’ショウゲツ、‘御衣黄’ギョウイコウ（緑黄系の花）のような里桜類

### 【家庭に向く園芸品種の例】



### 管理・植栽でコンパクトに仕立てる

#### ～剪定作業は基本的に落葉期～

「桜伐る馬鹿、梅伐らぬ馬鹿」という格言があります。この言葉の印象が強すぎて、サクラの枝は伐ってはいけないと思われていますが、剪定鋏で切れる程度の枝は剪定しても問題ありません。むしろ、剪定した方が通気や日当たりが良くなり、病虫害の抑制や枝の成長促進が期待されます。個人の庭のようにスペースが限られる場所では、樹形をコンパクトに保つ意味でも不要な枝は早期に剪定しましょう。

### 植付け時のポイント

樹木は芽生えた場所から移動することなく、その場の環境に合わせて成長していきます。したがって、植栽後の生育の善し悪しは、植える場所の選定によって決まるといっても過言ではありません。

### サクラが好む環境（場所選び）

サクラは太陽の光が好きな樹木です。植える場所は日当たりと風通し、水はけが良い場所を選びます。ただし、西日が照りつけるような場所は避けてくだ

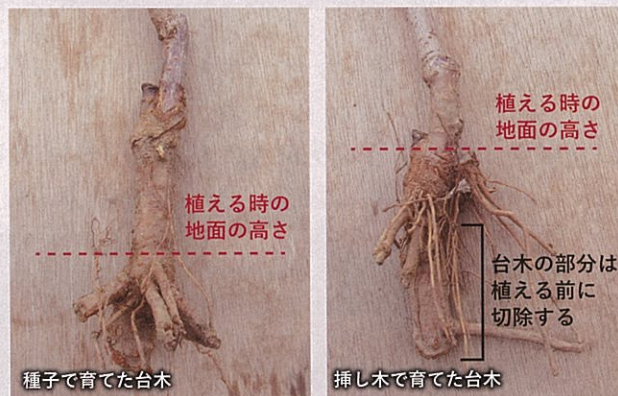
さい。また、肥料分が少ない土壤に植える場合は堆肥などの有機物を十分に施しておきます。

### 植える時の注意点

サクラの根には酸素も必要で、地中深くに植えられることを嫌います。根の上部が地面の高さと同じになるように植えます。植える前に半日程度、バケツなどに水を張って根を浸しておき、苗木に水を十分吸わせておくと根付きが良くなります。また、枝の伸長は根の成長に比例するため、樹形をコンパクトに維持するには、根の伸長を抑制することも有効です。植栽時に不織布ポットに植えた状態にしておくことで、枝の伸長も抑制されます。

### 苗木にあった植え方

桜の多くは接ぎ木という方法で生産されます。この接ぎ木に利用される台木（根の部分）には二種類の生産方法があります。一つ目は台木を種子で育てる方法で、植栽後に強風を受けても倒れにくい傾向があります。もう一つは台木を挿し木で育てる方法です。種子で育てた台木は植栽後も台木が根として機能しますが、挿し木で育てられた台木は植栽後数年で根としての機能を失います。台木が腐り悪影響を及ぼす場合がありますので、その対策として植える前に台木部分の古い根のみ剪定します。



管理ポイントについては、次回掲載予定です。

日本花の会では「桜の名所づくり」を進め、各地の古桜・銘桜や桜名所の樹勢回復、再生・保全なども手がけています。また、桜の苗木販売も行っています。

# 森と共に生きる仕事場 それは水源林を守ること

相模原市内で活動している林業家、佐藤好延氏より市内の森林の状況と活動についてお話を伺いました。

## ◆相模原市の森林の現状と将来に思うこと

相模原市の多くの山林は日本の長い林業不況の中にあって50年近く荒廃の一途をたどって来ましたが、幸いにも神奈川県の水源地整備事業（平成9年度）や水源環境税を背景にした、森林整備事業（平成19年度）等によって他県に類を見ない規模とスピードで荒廃林は整備の方向に向かっています。

旧津久井地域の森林は昔も今も、そして将来も絶えることなく相模原市をはじめ横浜市や川崎市等の神奈川県民の「水がめ」として恒久的に水を送り続ける大事な役割を果たしている生命線であると、森林整備に携わりながらいつも思っています。

ここに林業労働者の誇りと喜びがあります。

しかし、水源地域の集落周辺の山林は前述した整備の対象から外れるところも多く、荒廃林整備の解決への具体策はありません。

近年、土砂崩れや倒木等の災害も発生しており、鳥獣被害やヤマビルの出現等、多くの問題をはらみ集落の「過疎化」に拍車をかけていると思われます。

県の整備事業の拡大や市の森林計画への反映、ファンドの採用等、資源の活用と併せた山の再生が早急に求められていると実感しています。



土砂災害

## ◆当社の小さな活動と山への思い

地球温暖化や異常気象、森林資源の有効活用等、「自然」にかかわる情報や、それに伴う社会の動きは、私たちの身近に感じますが、その関心や理解の中にながら「林業」という産業になかなか光が当たらないもどかしさをいつも感じています。

市域の60%は森林です。県内の市町村中、森林面積（私有林含む）が山北町の次に多いのは相模原市です。



森林教室

しかし、森林整備等により伐採された木材の搬出量が少なく、この資源を活用する具体的な「形」は、なかなか見いだせていません。

このような中、独自に

「森林の散策」や「森林教室」、「林業体験」等を企画し、都市部の方々に水源林に案内して林業の意義や山の大切さを伝える活動をしています。

平成23年5月には青根に「青根草木館」を建設し、上下流域のコミュニティの場として多くの方々の交流も始まりました（現在は改築のため休館中）。

また、成長した木材をわずかではありますが「津久井産材」として搬出し、地元で製材し自然乾燥の後、加工して公共施設や一般住宅用として販売しています。

以上、小さな活動を紹介しましたが、都市部の方々に水源林に案内する場の拡大や、地域の方々との交流の場をもっと作れないものかと、いつも模索しています。

ご興味のある方は是非お問合せください。お待ちしております。



森林の散策



現在休館中



木材の自然乾燥



木材の自然乾燥

## 文・写真提供：

有限会社サトウ草木 津久井営業所 佐藤 好延氏  
相模原市緑区青野原115 TEL：042-787-0787

お庭のお手入れや  
緑化工事など、  
お気軽にご相談ください。

### 相模原造園協同組合

<http://www.sagamihara-zouen.jp/>  
TEL：042-773-8977 FAX：042-773-5051

相模原市まち・みどり公社が推進する「みどり豊かなまちづくり」を応援しています。

市内の動植物を訪ねて

## 鹿沼公園のハクチョウ

鹿沼公園はJR横浜線淵野辺駅より徒歩3分の所に位置しています。

この付近は、かつて葺が生い茂っていた沼地で「かぬま」と呼ばれ、巨人でいらぼっちの足跡が沼になったという言い伝えがあります。昭和17年に始まった土地区画整理事業で公園用地となりました。その後、約5年の歳月をかけ、昭和48年4月に鹿沼公園として生まれ変わり、今では多くの市民に親しまれる都市公園となっています。

アジサイや桜に囲まれた白鳥池では、数羽のコブハクチョウが飼育されています。

野生では日本に定期的に渡来するのはオオハクチョウとコハクチョウの2種類です。

コブハクチョウ（瘤白鳥）はカモ科ハクチョウ属に分類される鳥類で、日本には本来分布していない種類ですが、皇居のお堀をはじめ地域の公園の池等に生息する白鳥の一種です。

コブハクチョウの特徴は、扁平なクチバシが橙色をし、クチバシの上部の付け根（人間でいえば鼻と眉間の間辺り）に黒い瘤のようなものがあり、名前の由来になっています。

最初の鹿沼公園のコブハクチョウは昭和54年に市制25周年を記念し県立箱根自然公園（現在の県立恩賜箱根公園）より寄贈されました。

主に水辺に群生する植物や水底の水草の根や茎、藻

などを食べますが、同公園では管理事務所で餌を与えています。このため来園者によるパン等の餌やりは行わないようお願いしています。

春先に水辺に葺や水草を積み重ねて大きな巣を作り、産卵します。1回の産卵数は5～7個、メスが抱卵し育てます。管理事務所ではカラス等から卵を守るため、池にネットを張ることがあります。

また、育雛中の親鳥はヒナを守るために「威嚇」することがあります。このような行動は親鳥の立場から見ればヒナを守るための「防衛」行動です。抱卵中や育雛中は近づかず、遠くから温かく見守っていきましょう。

アジサイの花咲く頃には、可愛らしいヒナを白鳥池で見ることができる年もあります。

また、池にはコイ、カメもおり、公園の人気者となっています。この他にも児童交通公園として交通ルールを学ぶスペースや蒸気機関車D52の展示もあります。



鹿沼公園 住所：相模原市中央区鹿沼台2-15-1 TEL：042-755-9781

▶アクセス JR横浜線 淵野辺駅下車南口 徒歩3分

小田急線 相模大野駅（北口）からバスで 相02相模原駅行「鹿沼公園南入口」下車徒歩3分

JR相模線上溝駅からバスで淵52・淵53・淵59淵野辺駅南口行「淵野辺駅南口」（終点）下車徒歩3分

相模原市まち・みどり公社が推進する「みどり豊かなまちづくり」を応援しています

広告

コカ・コーライストジャパン株式会社 <http://www.ccej.co.jp>  
COCA-COLA EAST JAPAN CO., LTD. (コカ・コーラ指定会社) Coca-ColaはThe Coca-Cola Companyの登録商標です。

広告

かおりが、あまみが、  
New!  
麒麟生茶

2015年12月1日発行／編集・発行者・発行所：〒252-0236相模原市中央区富士見6-6-23 公益財団法人 相模原市まち・みどり公社  
TEL：042-751-6623 FAX：042-751-2345（土・日・祝日 はお休みです）

本紙に対するご感想、ご意見をお寄せください。ホームページにもぜひアクセスを… <http://www.sagamiharashi-machimidori.or.jp>